Ⅶ　アンケートから見た評判の良い研修プログラムの紹介

アンケートの自由記述から、受講者の多くが「高い」評価を与えていると考えられる研修プログラムをその研修プログラム担当者から提供していただき、紹介することにした。

ただ、研修の講師の名前は伏せた。それは、その講師に研修依頼が殺到すると、当然迷惑に感じられる場合があると考えたからである。

また、ここで最後に紹介する相模原市の研修は、ここで紹介するプログラム以外に、会話学校での研修が行われた。ここで紹介する研修プログラムと会話学校での研修のセットで評判が良かったが、会話学校での研修のメニューは提供されていない。

ここで紹介するプログラムが、他の地方自治体の研修プログラム担当者の参考になり、多くの英語科の先生がいっそう充実した研修を受講できるようになることを願っている。

大阪府の研修プログラム…… 158
高知県の研修プログラム…… 162
仙台市の研修プログラム…… 165
相模原市の研修プログラム…… 171

8400

平成15年度中学校「英語指導法」研修実施要項
―授業の達人への近道―

1　目　的　　英語担当教諭等としての専門的資質と指導力の向上を図る。
2　対象者　　中学校、盲・聾・養護学校（中学部）の英語担当教諭等
　　※教職経験者研修Ⅰの選択対象研修
3　日　時　　（1回～5回）Aグループ：7月22日（火）～28日（月）
　　Bグループ：7月29日（火）～8月4日（月）
　　Cグループ：8月18日（月）～22日（金）
　　Dグループ：8月25日（月）～29日（金）
　　※全日程とも、9：15～12：30
　　（6、7回）　別途通知するが、数校に分かれて授業見学、授業研究を実施する。研修日については選択制とする。
　　（8、9回）　11月17日（月）または18日（火）のいずれか1日
　　※ともに9：00～17：00
　　（10回）　別途通知する。
4　研修内容等
（1回～5回）

回	日　時	研　修　内　容	講　師　等
1	A　7月22日(火) B　7月29日(火) C　8月18日(月) D　8月25日(月) **9：15～12：30**	「最近の指導方法及び評価の在り方」 〔講義・研究協議〕 「コミュニケーション重視の学習指導」 ・効果的なティーム・ティーチングの工夫 〔講義・演習〕 「コミュニケーション能力診断・育成」 ・テスティングの工夫 〔講義・演習〕 「小学校英語活動に学ぶ（Ⅰ）」 ・小中連携をいかにスムーズに行うか 〔講義・演習〕 「小学校英語活動に学ぶ（Ⅱ）」 ・チャンツ、歌、ゲームの効果的な活用 〔実習〕 「クラス指導（Ⅰ）」 「クラス指導（Ⅱ）」 ・授業構成と実際 ・実技指導 〔実践発表・研究協議〕	
2	A　7月23日(水) B　7月30日(水) C　8月19日(火) D　8月26日(火) **9：15～12：30**		
3	A　7月24日(木) B　7月31日(木) C　8月20日(水) D　8月27日(水) **9：15～12：30**		
4	A　7月25日(金) B　8月1日(金) C　8月21日(木) D　8月28日(木) **9：15～12：30**		
5	A　7月28日(月) B　8月4日(月) C　8月22日（金） D　8月29日（金） **9：15～12：30**	「目的・習熟度別指導」 ・指導と評価 〔講義・演習・研究協議〕 等	

（6回～10回）

回	日　　時	研　　修　　内　　容	講　師　等
6	9月頃 （別途通知） 14：00～17：00	「小中の連携を考える（小学校等）」 ・授業見学 ・授業研究	大学関係者 小学校教諭 中学校教諭 大阪府教育センター 指導主事 大阪府教育センター 外国人講師 等
7	10月頃 （別途通知） 14：00～17：00	「効果的な授業づくりの研究（中学校）」 ・授業見学 ・授業研究	
8 9	11月17日（月） または 11月18日（火） のいずれか1日 9：00～17：00	「スピーカー及びモデレーター等の体験研修」 ・外国語指導助手（JET）中間期研修	
10	1月頃 （別途通知） 14：00～17：00	「授業実践の診断と評価」 ・マイクロ・ティーチング	

5　会　場　〔第1～5、8～10回〕
大阪府教育センター
（大阪市住吉区苅田4－13－23　電話　06-6692-1882）
〔地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m〕
〔第6、7回〕
研修日については選択制とし、その日程・会場については別途通知する。

6　担当室　カリキュラム研究室

7　その他　⑴　マイカーで来所しないこと。
⑵　受付は30分前から。
⑶　印鑑を持参すること。

8410

平成15年度高等学校「英語指導法」研修実施要項
―授業達人への近道―

1　目　的　　英語担当教諭等としての専門的資質と指導力の向上を図る。
2　対象者　　高等学校、府立盲・聾・養護学校（高等部）の英語担当教諭等
　　※教職経験者研修Ⅰの選択対象研修
3　日　時　　（1回～5回）Aグループ：7月22日（火）～28日（月）
　　Bグループ：7月29日（火）～8月4日（月）
　　Cグループ：8月18日（月）～22日（金）
　　Dグループ：8月25日（月）～29日（金）
　　※全日程とも、13：45～17：00
　　（6、7回）　別途通知するが、数校に分かれて授業見学、授業研究を実施する。研修日については選択制とする。
　　（8、9回）　11月17日（月）または18日（火）のいずれか1日
　　※ともに9：00～17：00
　　（10回）　別途通知する。
4　研修内容等
（1回～5回）

回	日　時	研　修　内　容	講　師　等
1	A　7月22日(火) B　7月29日(火) C　8月18日(月) D　8月25日(月) **13：45～17：00**	「最近の指導方法及び評価の在り方」 〔講義・研究協議〕 「コミュニケーション重視の学習指導」 ・効果的なティーム・ティーチングの工夫 〔講義・演習〕 「効果的な『読む』『書く』活動」 ・指導力・育成力向上のために 〔講義・演習〕 「中学校英語活動に学ぶ」 ・中高連携をいかにスムーズに行うか 〔講義・演習〕 「ディベート、ディスカッション、レシテーション、スピーチの指導」 ・基礎から発展まで 〔講義・実習・研究協議〕 「進路別指導法の改善（進学）」 「進路別指導法の改善（就職）」 ・目的に合った指導 〔講義・実習〕 「シラバス作成及び指導と評価の一体化」 ・テスティングの工夫 〔講義・研究協議〕 等	
2	A　7月23日(水) B　7月30日(水) C　8月19日(火) D　8月26日(火) **13：45～17：00**		
3	A　7月24日(木) B　7月31日(木) C　8月20日(水) D　8月27日(水) **13：45～17：00**		
4	A　7月25日(金) B　8月1日(金) C　8月21日(木) D　8月28日(木) **13：45～17：00**		
5	A　7月28日(月) B　8月4日(月) C　8月22日（金） D　8月29日（金） **13：45～17：00**		

（6回～10回）

回	日　　時	研　　修　　内　　容	講　師　等
6	9月頃 （別途通知） **14：00～17：00**	「中高の連携を考える（中学校等）」 ・授業見学 ・授業研究	大学関係者 小学校教諭 中学校教諭 大阪府教育センター 指導主事 大阪府教育センター 外国人講師 等
7	10月頃 （別途通知） **14：00～17：00**	「効果的な授業づくりの研究 （高校、大学等）」 ・授業見学 ・授業研究	
8 ・ 9	11月17日（月） または 11月18日（火） のいずれか1日 **9：00～17：00**	「スピーカー及びモデレーター等の体験研修」 ・外国語指導助手（JET）中間期研修	
10	1月頃 （別途通知） **14：00～17：00**	「授業実践の診断と評価」 ・マイクロ・ティーチング	

5　会　場　〔第1～5、8～10回〕
大阪府教育センター
（大阪市住吉区苅田4－13－23　電話　06-6692-1882）
〔地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m〕

〔第6、7回〕
研修日については選択制とし、その日程・会場については別途通知する。

6　担当室　カリキュラム研究室

7　その他　⑴　マイカーで来所しないこと。
⑵　受付は30分前から。
⑶　印鑑を持参すること。

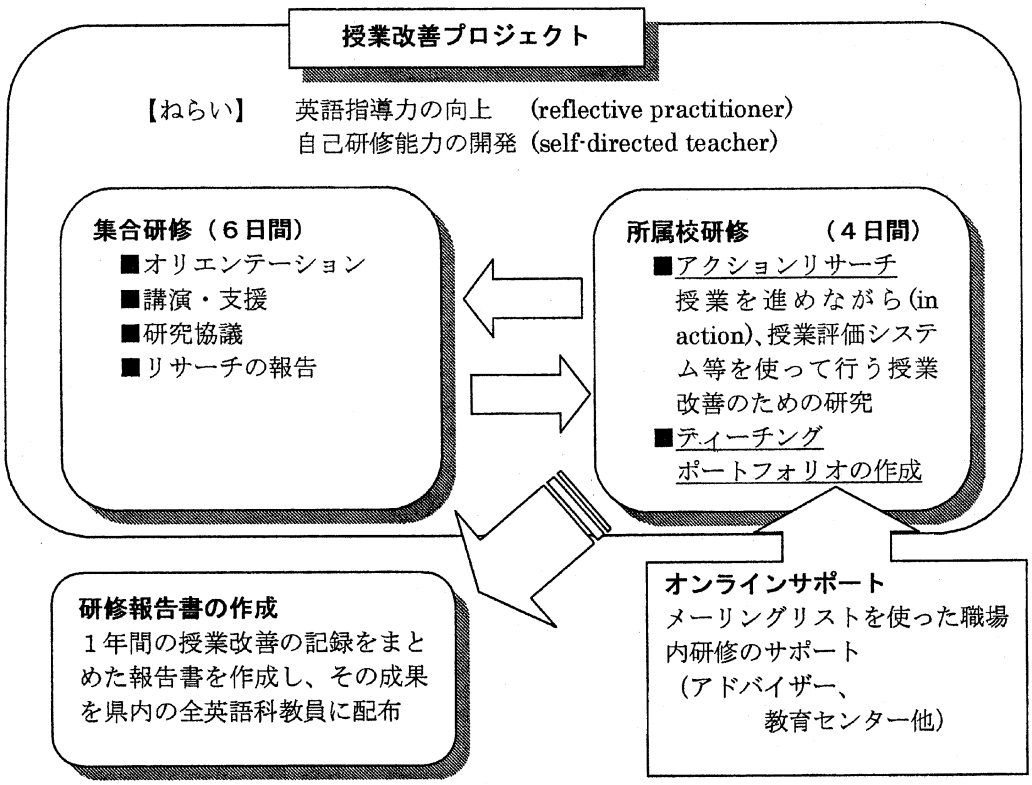
平成15年度英語教員指導力向上研修　夏期集中研修
Professional Development Seminar for EFL Teachers （2003-2004）
SUMMER SEMINAR

1　期　日　　平成15年８月４日（月）～８月８日（金）
2　会　場　　土佐女子短期大学（高知市大津乙2500－２）
3　主　管　　高知県教育センター
4　日程及び内容

<table>
<tr><td></td><td>9：00</td><td>9：30</td><td>10:00</td><td></td><td>12:00</td><td>13:00</td><td>14:20</td><td>14:30</td><td></td><td>16:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8／4
月</td><td rowspan="2">受付</td><td rowspan="2">事務連絡</td><td rowspan="2">開会</td><td rowspan="2">【特別講演】
「実社会が求める英語と英語教員に求められる資質」
―English Training for English Teachers―</td><td colspan="2">【診断テスト】
コミュニケーション能力自己診断
【A】</td><td colspan="2">【クリニック】
発音等クリニック
【B】</td><td rowspan="2">事務連絡
アンケート記入
ポートフォリオ返却</td></tr>
<tr><td colspan="2">【クリニック】
発音等クリニック
【A】</td><td colspan="2">【診断テスト】
コミュニケーション能力自己診断
【B】</td></tr>
<tr><td></td><td>8：30</td><td>9：00</td><td>9：50</td><td>10:00</td><td>12:00</td><td>13:00</td><td>15:20</td><td>15:30</td><td></td><td>16:30</td></tr>
<tr><td>8／5
火</td><td>受付</td><td>【選択】
フリートークセッションⅠ</td><td colspan="2">【英語指導法Ⅰ】
「ディベートを活用した英語教育」</td><td colspan="2">【英語実技Ⅰ】
DEBATE Ⅰ</td><td>【Research Project】
授業改善プロジェクトⅠ</td><td>記入
アンケート</td></tr>
<tr><td></td><td>8：30</td><td>9：00</td><td>9：50</td><td>10:00</td><td>12:00</td><td>13:00</td><td>15:20</td><td>15:30</td><td></td><td>16:30</td></tr>
<tr><td>8／6
水</td><td>受付</td><td>【選択】
フリートークセッションⅡ</td><td colspan="2">【英語実技Ⅱ】
DEBATE Ⅱ</td><td colspan="2">【英語指導法Ⅱ】
「実践的コミュニケーション能力を育成する授業設計と授業改善の視点育」</td><td>【Research Project】
授業改善プロジェクトⅡ</td><td>記入
アンケート</td></tr>
<tr><td></td><td>8：30</td><td>9：00</td><td>9：50</td><td>10:00</td><td>12:00</td><td>13:00</td><td>15:20</td><td>15:30</td><td></td><td>16:30</td></tr>
<tr><td>8／7
木</td><td>受付</td><td>【選択】
フリートークセッションⅢ</td><td colspan="2">【英語指導法Ⅲ】
「指導と評価の一体化」</td><td colspan="2">【英語実技Ⅲ】
同時通訳訓練法に挑戦！Ⅰ</td><td>【Research Project】
授業改善プロジェクトⅢ</td><td>記入
アンケート</td></tr>
<tr><td></td><td>8：30</td><td>9：00</td><td>9：50</td><td>10:00</td><td>12:30</td><td>13:30</td><td>15:30</td><td>16:20</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>8／8
金</td><td>受付</td><td>【選択】
フリートークセッションⅣ</td><td colspan="2">【英語実技Ⅲ】
同時通訳訓練法に挑戦！Ⅱ</td><td colspan="2">【Research Project】
授業改善プロジェクトⅣ</td><td>オンライン研修後期に向けて</td><td>閉会
アンケート記入</td></tr>
</table>

Research Project「授業改善プロジェクト」

1　「授業改善プロジェクト」の概要

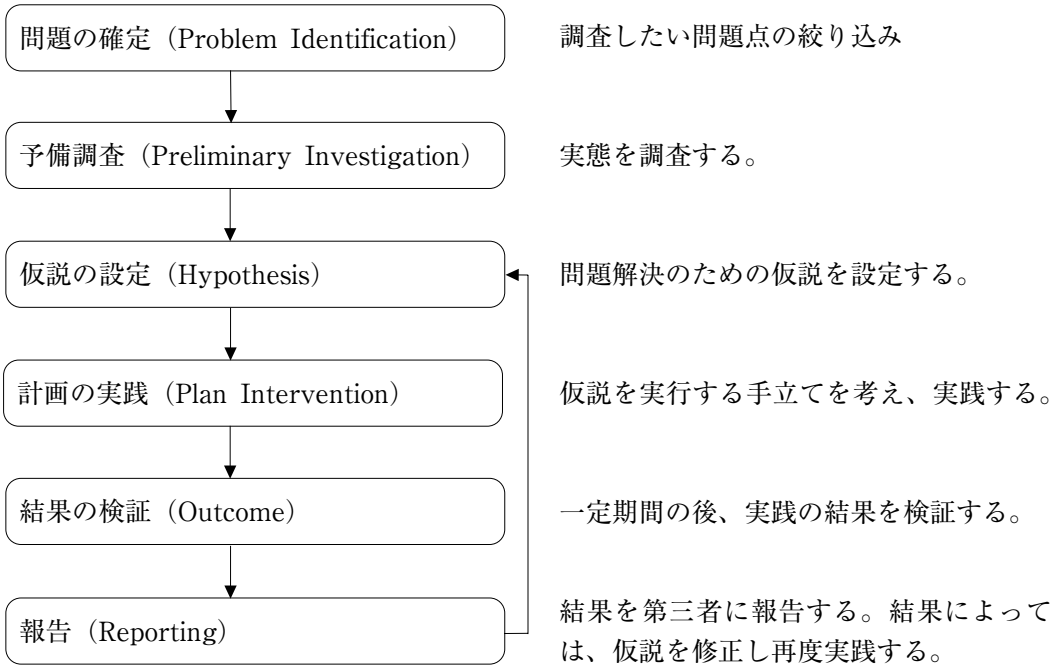


- ✓ 所属校研修でのアクション・リサーチと集合研修での研究協議を組み合わせて実施します。
- ✓ 所属校研修でのアクション・リサーチを効果的にかつ簡単に進めることができるように、アクション・リサーチ・アドバイザーから課題を４回送付します。
- ✓ ４回分の課題に取組むことで、アクション・リサーチの基本的な流れが身につくようになっています。
- ✓ ４回分の課題の終了をもって、４日分の研修終了とみなすこととします。
- ✓ 所属校研修をサポートするために、メーリングリストを設置します。
- ✓ １年間のリサーチプロジェクトは、その経過と結果をティーチング・ポートフォリオに蓄積していきます。
- ✓ １年間の研修の成果を報告書にまとめ、県内の全ての英語科教員で共有します。

2　アクション・リサーチとは

「教師が授業を進めながら、生徒や同僚の力も借りて、自分の授業への省察とそれに基づく実践を繰り返すことによって、次第に授業を改善していく授業研究」
（佐野正之著『アクション・リサーチのすすめ』大修館書店）

〈アクション・リサーチの流れ〉



3　ティーチング・ポートフォリオとは

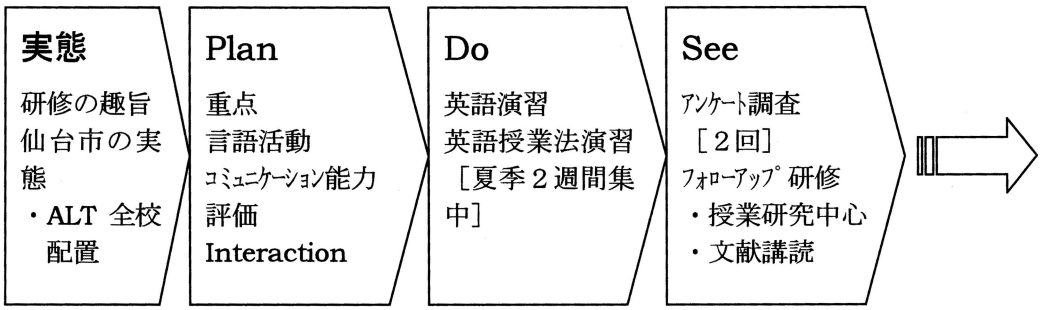
「ある一定期間行った教授活動に関するあらゆるものを、参加する教師自らが積極的に保管・整理することによって、教師としての自己成長の過程と結果を記録するシステム」
（横溝紳一郎「アクションリサーチとティーチング・ポートフォリオ：現職教師の自己成長のために」*The Language Teacher* 23: 12）

⑴　ポートフォリオに含めるもの　①授業改善プロジェクトに関する課題等**[必須]**
（研修課題、指導案、授業評価の結果など）
②本研修に関する資料、自己研修資料等

⑵　ポートフォリオの提出
第１回　平成15年８月４日（月）
第２回　平成16年１月５日（月）

平成16年２月23日
「英語教員の資質向上のための研修」の実施計画案策定の基本方針
仙台市教育センター　指導主事

◇新規研修事業を立ち上げるに際して次の手順で研修事業を推進



［新規研修事業の説明］
平成14年10月16日（水）東京［場所：ホテルフロラシオン青山］で行われた文部科学省平成14年度外国語教育担当指導主事連絡協議会で、平成15年度より新規実施予定の研修事業について説明が行われた。その説明を受け下記のとおり新規研修事業実施の基本方針を策定した。まず、新規研修事業の趣旨は、当日の配付資料によると次のとおり。

> 学校教育における英語の授業をコミュニケーション能力を重視したものに改善するためには、教員の英語力及び英語授業力の向上を図ることが必要不可欠である。
> このため、英語教員の英語力の目標を設定する一方、英語教員の英語力の向上

を図るため、５か年計画により、中・高等学校の全英語教員約６万人に対し、集中的な研修を実施する。

［仙台市の研修事業立ち上げの基本方針］
仙台市研修内容を決定するにあたり、文部科学省の「『英語が使える日本人』の育成のための英語教員研修ガイドブック」（以後、「英語教員研修ガイドブック」）の趣旨を生かすことを第一義として、実りある研修とすることを目指す。特に、「第１章英語教員研修の基本コンセプト」にある、

> 「英語コミュニケーション能力育成のための能力」を、「教職」として求められる資質能力、英語運用能力、英語授業力からなる総合的能力としてとらえ、これを英語教員集中研修の主目的とし、必要な英語授業力の習得を図る中で、教員自身の英語運用能力を同時に涵養。（「英語教員研修ガイドブック」）

を踏まえて、仙台市の研修においては「英語運用能力」「英語授業力」に焦点をあてて研修内容を編成する。

> ◎研修内容は仙台市の実態に応じて編成する。

◎10日間連続の研修として、夏季休業期間中または冬季休業期間中に実施する。
◎英語教員研修ガイドブックにある英語運用能力と英語授業力に焦点化して研修を組み立てる。英語運用能力を「英語演習」、英語授業力を「英語教授法演習」として2部構成として、それぞれ1週間（実質5日間）とする。
◎研修中の使用言語は、研修の趣旨から英語で行うことを原則とする。
◎講師の選定にあたっては、英語運用能力および英語授業力を高めるために、英語教員をトレーニングするという視点で、経験豊富で仙台市の研修意図を理解し協力していただける方に依頼する。特に、「英語演習」では、外国人に英語を教授する資格、たとえば、TESOL などの資格をもつ native speakers に依頼する。

［仙台市の実態］

学校訪問、指導主事会議などから授業の様子をまとめるとおおむね次の4点である。

●ALT の全校配置により、英語教員の英語運用能力は一般に高い。また、ALT と JTE の協同作業により教材が開発され、いろいろな活動が工夫され授業で実践されている。
●一単位授業の指導過程に、よく工夫された活動が組み込まれてはいるが、時折、個々の活動の関連性が希薄になりがちで、ひとつひとつの活動がその単位時間のねらいに向けて収束していかない場合がある。
●コミュニケーション能力を育てる活動が教科書本文の暗唱や Dialogue の一部の語句を入れ替えての練習になりがちで、Dialogue などを活用した pattern practice になっているものもある。
●仙台市立中学校、高等学校には全校に ALT が各1名配置されている。ALT と JTE の協力により Team-Teaching がそれぞれのよさを生かした授業が行われているが、一部まだ改善が必要な授業実践がある。

［研修内容編成（カリキュラム）の視点］

以上の実態を踏まえて、その分析と先の基本方針を踏まえて研修内容の設定の視点は、次のとおりである。

○外国語科（英語）の時間の目標をもう一度確認する必要がある。授業時間で指導する内容が不明確になりがちで、いきおい言語材料の指導とその定着に指導が向かう傾向がある。外国語科（英語）の授業は言語活動を行うことで、「英語によるコミュニケーション能力（現行学習指導要領では、実践的コミュニケーション能力）」を育てることにある。学習指導要領の基礎的な概念「コミュニケーション能力」「学習活動」「言語活動」などを確認する研修が必要である。
○「指導と評価の一体化」といわれて久しいが、授業中の評価、ある一定期間の指導の後に行われる総括的な評価など生徒の力の伸長を確認する視点、方法を整理する必要がある。目標に準拠した評価をするための方法論、技術論だけに焦点を当てるのではなく、「評価」と「指導」とは何か、もう一度ここで確認

する研修が求められる。
○ALT との Team-Teaching をさらに有効に実りあるものにするために、ここでもう一度 Team-Teaching の指導理論とその実際について確認することが必要である。
○研修が全体的に授業で行われる実際の活動そのものの研修だけではなく、その背景にある指導理論とその実際について、理論と実践のバランスのとれた研修を編成することが必要である。
○仙台市の研修は以上のことから研修の内容を広げ過ぎずに上記の 3 点、「コミュニケーション能力・学習活動・言語活動」「評価」「TT、Interaction」にしぼり、これらに造詣の深い専門家にしっかり指導していただくことが大切である。

［研修内容（カリキュラム）］

表題	コマ数	内容
英語演習	20	主に聞くこと、話すことなどの英語運用能力の向上
英語教授法演習	16	学習指導要領［コミュニケーション能力、言語活動、学習活動］、評価、Team-Teaching, Communicative Activities, Interaction
教養講座	4	第二言語習得、心理言語学（or 英語教授法演習）
合計	40	（1 コマ＝90分）

・「英語演習」では、主に聞くこと、話すことなどの英語運用能力の向上を目指す。使用教材は英語教員の英語運用能力を高めるためのものとともに、語句等を入れ替え工夫することで中学校の英語教室でも、言語活動に十分に活用できるもので編成する。
・教養講座的なものが「英語教員研修ガイドブック」にあるが、当面、英語教授法演習に含めてその中で研修することとする。
・英語教授法演習を20コマとして、10コマを「コミュニケーション能力」「学習活動」「言語活動」「評価」、残り10コマを「Team-Teaching」「Communicative Activities [Interaction]」にあてる。

［講師依頼の視点］
研修内容を受けて講師依頼について次の基本方針のとおり。

□「英語演習」には、授業中の教員の英語使用及び生徒の英語使用を誘発するよう、英語教員の英語力を高めることを目指して、外国人に英語を教授する資格、たとえば、TESOL などの資格をもつ native speaker の講師を招聘する。
□「英語教授法演習」では、「コミュニケーション能力」「学習活動」「言語活動」の理論的な理解とともに、それらを日々の授業に実際にどう生かしていくかという実践的な部分についてバランスのとれた指導ができる講師を招聘する。
□「英語教授法演習」では、ALT との Team-Teaching を基本に、教室内での

英語での communicative activities について、理論と実践のバランスのとれた指導が可能な講師を招聘する。

［講師依頼の候補者］

「英語演習」の講師は、㈶英語教育協議会所属の外国人講師、「英語教授法演習」の講師は、次の文献の執筆者に依頼したい。「日本における英語教育の研究」には、M氏により「コミュニケーション能力」「学習活動」「言語活動」の概念が分かりやすく適切に整理されている。さらに、理論から実践までの過程が詳しく記述されている。また、もう一つの文献「英語のコミュニケーションの指導」では、W氏により教室内での生徒と生徒、生徒と教員による“communicative activities”や“interaction”の理論とその実際が詳しく解説されている。

英語担当教員集中研修講座フォローアップ研修講座

1　集中研修講座のねらいと内容及び実施状況

○英語担当教員の英語運用力の向上、言語活動、評価、Team-Teaching に焦点化した研修を企画、実施した（期間、平成15年７月28日～８月８日）。

○外国人に英語を教えることのできる資格をもった外国人講師（５名）、大学　大学教授、英語担当教員の英語運用力及び授業実践力を確実に鍛えることのできる講師陣を配し、研修を実施した。

○研修の成果は、受講生60名、研修初日は堅さもみられたがしだいに受講生どうし打ち解け、講師陣の指導もあり英語運用力及び授業構成について基礎的な知識や技能を確認し習得することができたことと思われる。また、それ以上に、受講生間のネットワークが構築され、受講生間で英語授業の研究会を行おうとする気運が高まっている。

2　フォローアップ研修計画

●文献講読会及び授業研究会の実施

集中研修で学んだことや確認したこと等を授業改善の評価と今後の方途の観点から組織的に検証する必要性を認める。

既存の教育指導課主催の英語教育講座、仙台市中学校教育研究会英語部会で実施している、講演会、地区別授業研究会などとの協力も視野に入れながら、企画、実施する必要があると考えられる（一部調整中）。

「年間実施予定」にあるように日程を定め英語教育関係基本図書の講読会及び授業研究を実施する。年間を通して英語担当教員集中研修講座の研修を継続させ、受講者への研修後の支援事業として実施し、研修の成果を確かなものにする。

●ねらい

集中研修で学んだこと、確認したことを実際の教室の中でどう生かすか、生かすことができるのか、集中研修後の研修により授業研究を通して改善のさらなる明確な方途を探る。

●内容

授業研究及び文献講読

●年間実施予定（平成15～16年度）

日時（予定）	曜			
5月　日	金	文献講読		教育センター
7月　日		授業研究		〃
7月下旬～ 8月初旬		集中研修講	外国人講師 M、W講師	教育センター 及び外部施設
11月　日	火	文献講読		教育センター
1月　日	水	授業研究	M、W講師	〃
3月　日	水	授業研究		〃

※受講者は、「英語担当集中研修講座」受講者

※教育センターで実施の場合は、第10・11研修室使用（予定）（午後）

［参考資料１］

平成15年度
英語担当教員集中研修講座フォローアップ研修実施要項

（敬称略）

1　目　的　　集中研修で学んだこと、確認したことを実際の教室の中でどう生かすか、生かすことができるのか、集中研修後の研修により授業改善のさらなる明確な方途を探る。

2　主　催　　仙台市教育委員会

3　対　象　　仙台市立中学校英語科担当教員、平成15年度講座受講者

4　期　日　　平成15年12月５日（金）、平成16年１月７日（水）、３月12日（金）

5　会　場　　仙台市教育センター　第10・11研修室

6　日程・内容

<table>
<tr><td rowspan="2">12月5日（金）</td><td colspan="4">15：30　　17：00</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>【演習】「文献講読」
仙台市教育センター
指導主事</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1月7日（水）</td><td colspan="4">10：00　10：30　12：00　13：30</td></tr>
<tr><td>【オリエンテーション】
教育センター指導主事</td><td>【講義】
「英語科授業研究の理論」</td><td>昼食休憩</td><td>【研究協議】
「ビデオによる英語科授業研究」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3月12日（金）</td><td colspan="4">15：30　　17：00</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>【演習】「文献講読」
仙台市教育センター
指導主事</td></tr>
</table>

7　講　師

【講義】【研究協議】　　W教授
【研究協議】　　M教授
【演習】　　仙台市教育センター　指導主事

8　その他

・【演習】「文献講読」は事前の準備は必要ありませんが、
H. Douglas Brown. “Teaching by Principles.” Longman.
Jeremy Harmer. “The Practice of English Language Teaching.” Longman.
の２冊をご持参ください。

平成15年度英語教育専門研修講座計画書

目　的		実践的コミュニケーション能力を育成する指導を充実させるために、集中的な研修を通して英語教員の英語教授力及び英語運用能力の向上を図る。	
回	日	研　修　項　目	研　修　内　容
1	8/4月 9：00～ 12：00	オリエンテーション 1　英語教育動向① 2　英語教育動向②	・研修のねらい、全体計画の説明 ・「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」について ・小学校英語の動向
	13：30～ 16：30	3　スピーキングスキルアップセミナー① 4　スピーキングスキルアップセミナー② 5　TOEIC セミナー①	1　テーマ　Meeting 1 2　テーマ　Meeting 2 3　TOEIC Listening Part 1 & 2
2	8/5火 9：00～ 12：00	6　指導法改善①②③ 7　演習「タスク活動の実際」 8　講師	・タスク活動についての説明 ・タスク活動作成演習（小グループ） 中学校教諭
	13：30～ 16：30	9　スピーキングスキルアップセミナー③ 10　スピーキングスキルアップセミナー④ 11　TOEIC セミナー②	4　テーマ　Restaurant 1 5　テーマ　Restaurant 2 6　TOEIC Listening Part 3 & 4
3	8/18月 9：00～ 12：00	12　指導法改善④⑤⑥ 13　講義「これからの英語教育」 14　講師	・これからの英語教育に望まれるもの
	13：30～ 16：30	15　スピーキングスキルアップセミナー⑤ 16　スピーキングスキルアップセミナー⑥ 17　TOEIC セミナー③	7　テーマ　Travel 1 8　テーマ　Travel 2 9　TOEIC Reading Part 5
4	8/19火 9：00～ 12：00	18　新しい教授法①②③ 19　講義「コミュニケーション活動の工夫」 20　講師	・授業におけるコミュニケーション活動の工夫 中学校教諭
	13：30～ 16：30	21　スピーキングスキルアップセミナー⑦ 22　スピーキングスキルアップセミナー⑧ 23　TOEIC セミナー④	10　テーマ　Everyday Life 1 11　テーマ　Everyday Life 2 12　TOEIC Reading Part 6
5	8/20水 9：00～ 12：00	24　授業実践演習①②③ 25　演習　英語による授業運営 26　講師	・英語のみを使用した英語授業運営
	13：30～ 16：30	27　スピーキングスキルアップセミナー⑨ 28　スピーキングスキルアップセミナー⑩29 TOEIC セミナー⑤	13　テーマ　Interests 1 14　テーマ　Interests 2 15　TOEIC Reading Part 7 － 1
6	8/21木 9：00～ 12：00	30　授業実践演習④⑤⑥ 31　演習　ALT との TT 授業作り 32　（ALT 7 人参加）	・ALT との有効な TT の指導案作り（小グループ）
	13：30～ 16：30	33　スピーキングスキルアップセミナー⑪ 34　スピーキングスキルアップセミナー⑫ 35　TOEIC セミナー⑥	16　テーマ　Health 1 17　テーマ　Health 2 18　TOEIC Reading Part 7 － 2
7	8/22金 9：00～ 12：00	36　授業実践演習⑦⑧⑨ 37　演習　模擬授業実践 38　（ALT 7 人参加）	・前日に作成した指導案に基づいての模擬授業発表（各グループ毎）
	13：30～ 16：30	39　TOEIC チャレンジ① 40　TOEIC チャレンジ② 修了式	TOEIC 模擬テスト実施 （後日、直接受講者へ結果を送付）

※毎日 9 時から30分間ミニ発表会として受講者の授業実践報告をする